

## 第8章

# 地域での課題解決型学習を支援する情報事業の「見える化」 女性センターライブラリとの新しい事業連携の提案

市村 櫻子

### はじめに

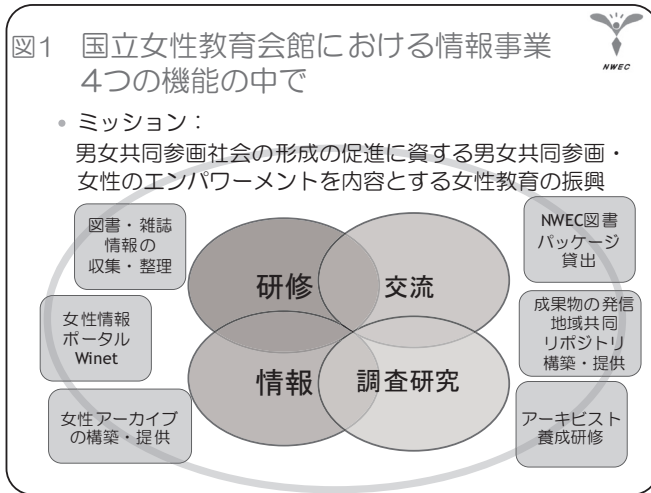
国立女性教育会館（以下、NVEC という）女性教育情報センター（以下、情報センターという）は、男女共同参画及び女性・家庭・家族に関する専門図書館として、その設置から 35 年、その専門性を活かした様々な情報サービスを展開している。

本稿では、課題解決型学習の支援という視点から、情報センターが発信している情報の「見える化」の実践を紹介する。そのうえで、情報センターの専門性を活かしたサービスが、全国の女性センター等をはじめ、館種の違う大学図書館、公共図書館、学校図書館等とも連携し、地域に貢献できる図書館・情報サービスの可能性を探る。

### 1 国立女性教育会館における情報事業

NVEC は、男女共同参画社会の形成の促進に資する男女共同参画・女性のエンパワーメントを内容とする女性教育の振興をミッションとしている。そのミッション遂行のため、研修、交流、調査研究、情報の 4 つの機能を有機的に組み合わせ、毎年、様々な事業を企画・実施している（図 1）。





そのうち、情報事業の3つの柱に基づき、現在の図書館・情報サービスの現状と課題、専門図書館としての強みの見せ方、使い方など、今後の連携について、その可能性を例示したい。

#### 【情報事業の3つの柱】

- 男女共同参画および女性・家庭・家族に関する情報資料の収集・整理・提供
- 女性情報ポータルおよびデータベースの整備充実
- 女性アーカイブ機能の充実

## 2 男女共同参画及び女性・家庭・家族に関する情報資料の収集・整理・提供

情報課は情報センターを運営している。情報センターは、男女共同参画および女性・家庭・家族に関する専門図書館として、基本的かつ全国的な資料・情報を計画的に収集・整理し、利用者に提供するとともに、レファレンス・サービス、文献複写サービス、年4回の図書資料のテーマ展示などによる情報提供を行っている。

情報センターに来室した利用者は、情報センターのサービスカウンターで、



ほぼワンストップで図書・情報サービスの提供を受けることができる。サービスカウンターを担当する情報課職員は、NWEC 採用職員と他大学図書館からの人事交流で配属された図書館職員で構成されている。そのため、NWEC の専門テーマに関する知識量は異なるが、各人がこれまで培ってきた大学図書館での業務経験を活かし、情報課のサービス業務を展開させている（図2）。

情報センターは、現在の蔵書約 13 万冊規模の図書館である。蔵書構成は、図3のとおり、図書資料として、図書・地方行政資料を始め、逐次刊行物の雑誌・新聞があり、海外の電子ジャーナル、電子ブックも揃えつつある。

とりわけ国内の雑誌には、地方自治体発行の女性広報誌、女性団体・グループが発行したミニコミ、ニューズレター等を含み、専門図書館としての資料収集の幅の広さ・厚さをみることができる。

なお、ミニコミについては、平成 24 年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金（研究成果公開促進費））データベース（学術誌データベース）により、その一部を電子化し、平成 25 年 4 月にインターネット公開する事業を予定している。

その他にも特徴的な資料として新聞切り抜き記事がある。昭和 52 年以前の全国紙・地方紙の約 50 紙から、専門テーマに関する新聞記事を毎日クリッピングし、約 32 万件の記事データを蓄積している。特に市販の新聞記事データベースのアーカイブで収録されなかった女性関連記事を独自に収集・保存・提供しているところに専門図書館としての収集方針の特徴が表れている。

それらのタイトル、著者などの情報（目録データ、所在）は、日々、文献情報データベース（Online Public Access Catalog: オンラインの蔵書・新聞記事・和雑誌記事目録）に登録され、①女性情報ポータル Winet（ウィネット）（以下 Winet）トップページ（<http://winet.nwec.jp/>）の新着情報への表示、または②新着資料アラートサービスによるメールでの通知、③文献情報データベースから探すことができる。

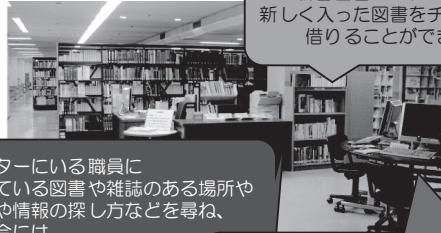
情報センターに来室すると、直接、これらの資料を手にとって利用できるし、来室できない利用者は、前述のとおり、インターネットから次項で紹介する Winet を使って、必要な情報（目録データ、所在）を探し、貸出サー



ビス、コピーサービスで情報を入手することができる。

## 図2 女性教育情報センターでは、

ワンストップサービスで資料や情報が提供できる



新着図書コーナーで、  
新しく入った図書をチェック！  
借りることができる

カウンターにいる職員に  
○探している図書や雑誌のある場所や  
○図書や情報の探し方などを尋ね、  
無い場合には  
○他の図書館から図書や  
雑誌記事のコピーを  
取り寄せることができる。

Winetから図書・雑誌・新聞記事・  
海外電子ジャーナル・統計データなど  
様々な情報を自分で探すことができる

## 図3 どんな資料がどれだけあるか、 というと

平成24年3月末現在



		和	洋	計
図書資料	図書	75,009冊	22,208冊	97,217冊
	地方行政資料	25,478冊	8冊	25,486冊
	計	100,487冊	22,216冊	122,703冊
逐次刊行物	雑誌	3,206誌	731誌 (62ヶ国)	3,937誌
	新聞	74紙	1紙	75紙
その他	新聞切抜記事	323,111件	—	323,111件
	A V資料	187種	4種	191種

### Winetを使おう！

キーワードから探して、情報センターにある  
図書（12万冊以上）、雑誌（約4千タイトル）、  
新聞切抜記事（32万件以上）は借り出しやコピーがとれる。



### 3 女性情報ポータルおよびデータベースの整備充実

女性情報ポータル Winet（ウィネット：Women's information network：<http://winet.nwec.jp/>）は、女性の現状と課題を伝え、女性の地位向上と男女共同参画社会形成を目指した情報の窓口として、平成 18 年にサービスを開始した。NWEC が独自に調査・構築し、提供する各種データベース、女性情報ナビゲーション（リンク集）、女性情報 CASS（Cross Access Search System：横断検索）で構成される。

近年の情報環境の変化、NWEC 事業の新たな展開による利用対象者の拡大、特に埼玉大学との男女共同参画の連携授業や、埼玉県短期大学協会との連携による女性のキャリア学習授業の受講者（大学生・短大生）にあわせて、Winet は平成 23 年 4 月に日本語のトップページをリニューアルし、続いて平成 24 年 3 月英語版を公開した。

リニューアルのコンセプトは、図 4 のとおり NWEC 情報センターの情報をユーザーにもっと届きやすくすることを目指した。

#### 【コンセプト】

- 日々の情報更新が見える
- NWEC の情報事業の動きが見える
- NWEC が提供する情報が見える
- おすすめコンテンツが見える

なお、リニューアル前のホームページは、現在も Winet の「女性情報ナビ」あるいは「さらに探す」からアクセスできる。



## 第8章 地域での課題解決型学習を支援する情報事業の「見える化」

図4

女性情報ポータル ウィネット

"Winet"(Women's information network)は、女性の現状と課題を伝え、女性の地位向上と男女共同参画社会形成を目的とした情報の総合窓口です。

情報の探し方 最新記事 女性情報ナビ 国立女性教育センター

本や雑誌を探す  
雑誌記事  
女性関連施設を探す  
統計データを探す  
専門家情報を探す  
男女共同参画関連施設  
さらに探す

New arrival 新着案内

新聞記事 新聞記事 本 地方行政資料 Web 統計

もっと見る

- 「話すことが心の楽になる」：倉持予祐の能半学校で読み聞かせ / 斎藤純江
- 「F888三人娘」馬淵晴子さん死去
- 「北沢」：少子高齢化 / がんばりよが来るか
- おやひのせなか / 一人で遊ぶことが変わった：幾田由希さん / 斎藤純江
- 皇室典則改正を機に：女性宮家創設に慎重論 / 政経、月経、月経報告 / 刀波清貴

日々の情報更新が見える

Topics トピックス

- 2012.10.2 女性教育情報センター10～12月のテーマ展示は「日本で暮らしが国女性性」です new
- 2012.10.2 国立女性教育センター「国立女性教育センター」を国立女性教育センターが利用するようになりました
- 2012.9.28 女性デジタルアーカイブセンター（国立女性教育センター）がリニューアルしました new
- 2012.8.7 女性デジタルアーカイブセンター企画展示「国立女性教育センター」がリニューアルしました new
- 2012.8.24 NWECの男女共同参画統計データベース（No.98）が公開されました
- 2012.4.13 女性関係施設の指定管理施設導入施設に関する調査報告（事例集）を発行しました

Pickup contents ピックアップコンテンツ

- このサイトについて
- 女性教育情報センター ネットワーク案サービス
- 国立大学における男女共同参画状況データベース
- 女性情報、フレンチ事例集
- SDG5の推進と地域共同（ボジナリ）
- 女性デジタルアーカイブセンター new
- 海外女性情報専門データベース
- 国立女性教育センターテーマで表示

おすすめコンテンツが見える

NWECの情報事業の動きが見える

NWECが提供する  
情報が見える

おすすめコンテンツが  
見える

NWECの情報事業の  
動きが見える

図5

女性情報ポータル(総合窓口)

このサイトについて

新着情報

利用のコツ

サイトマップ

ウィネット

Winet

トップ

検索

女性情報ナビゲーション

検索

女性情報ナビゲーション

検索

女性情報ナビゲーション

検索

女性情報ナビゲーション

検索

女性情報ナビゲーション

検索

女性情報ナビゲーション

検索

女性情報ナビゲーション

検索

女性情報ナビゲーション

検索

女性情報ナビゲーション

検索

女性情報ナビゲーション

検索

女性情報ナビゲーション

検索

女性情報ナビゲーション

検索

女性情報ナビゲーション

検索

女性情報ナビゲーション

検索

女性情報ナビゲーション

検索

女性情報ナビゲーション

検索

女性情報ナビゲーション

検索

女性情報ナビゲーション

検索

女性情報ナビゲーション

検索

女性情報ナビゲーション

検索

女性情報ナビゲーション

検索



## 4 女性アーカイブ機能の充実

女性アーカイブセンターは、女性に関する過去の歴史的事実および現在の状況を検証し、現代の問題へのアプローチを可能にするため、歴史的価値・研究資料的価値を有する女性関係史・資料を収集・整理・保存し、その一部を展示等を通じて公開することを目的に、平成20年6月に開設された。設置までの経緯は次のとおりである。

平成16年頃、設置にむけての具体的検討が始まった。平成17年6月「独立行政法人国立女性教育会館の将来ビジョン」に、女性アーカイブの必要性が明記された。平成17年度・18年度の「女性アーカイブセンター機能に関する調査研究」を実施し、平成19年度改修工事、平成20年6月女性アーカイブセンター開設となる。

原則として明治以降、国連婦人の十年（1976～1985年）までに作成された、男女共同参画社会の形成に顕著な業績を残した女性・全国的な女性団体や、女性教育・男女共同参画施策等に関する史・資料を受贈により収集に努めている。

これらの史・資料のうち一部は、NWEC本館1階の展示室で、年2回（企画展示の前後の約7ヵ月間）所蔵展示を開催している。また、大学や企業、学会等の外部機関と連携・協力して開催する企画展示は年1回（約5ヵ月間）、「チャレンジした女性たち」をサブテーマに、様々な分野で活躍する女性たちをテーマごとに取りあげて毎年開催している（図6）。

企画展示は、平成23年度からサブテーマに「チャレンジする女性たちへ」を追加した。さらに開催時期を8月からとし、女子中高生夏の学校の開催期間に合わせることによって、若い女性たちに先輩たちからのメッセージを届けるとともに、ロールモデルの提供の場ともなっている。

企画展示の展開として、次のことが挙げられる。「女性の実業教育のはじまり（平成22年度）」では、文京学園後援会教養施設部施設見学会による文





京学園副理事長の講義、文京学園関係者による見学会が実施された。「化学と歩む（平成23年度）」は、名古屋大学物質科学国際研究センター野依記念物質科学研究館への出張展示を実現した。

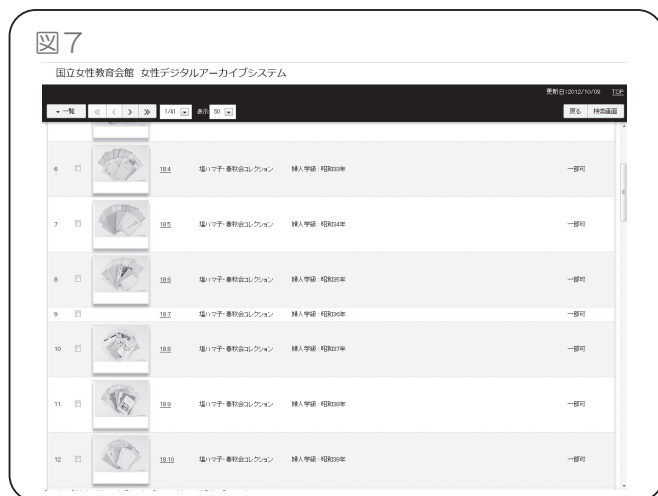
また、毎年の企画展示で、展示物の解説資料として作成したファクトシートは、外部で活用され続けている。「女性の実業教育のはじまり（平成22年度）」は、連携した大学の職員研修テキストへ使われた。「化学と歩む（平成23年度）」は、平成24年度の大阪府立大学の女性学講演会（公開講座）や東京工業大学で開催された化学史研修会で、資料として参加者全員に配布されている。平成24年度開催の「建築と歩む」は、日本建築学会男女共同参画推進委員会で配布された他、展示室の見学者から、埼玉県下の建築の授業を持つ高校への配布提供を提案されるなど、普及・活用の波が広がってきている。

一方、インターネットでは、平成20年10月から女性デジタルアーカイブシステムによる目録と画像データ（一部）を公開している。平成24年は、今後の更なるサービス展開を目指して、システムリプレイスを実施した。

平成24年10月に第一次公開した、新しい女性デジタルアーカイブシステムでは、これまでのシステムになかった「検索結果一覧ページでの画像表



示（図7）」や、検索結果ダウンロード機能を追加するなどし、より使いやすいデータベースを目指している。初代女性デジタルアーカイブシステムの良さを引き継ぎながらも、今後、順次新しい機能を追加していく予定である。



## 5 サービス展開の可能性

専門図書館としての実績と、NWEC が設立以来 35 年間に育んできた全国の女性関連施設等との連携・協力体制を大きな強みとして活かし、かつ今後、お互いの図書・情報事業を展開させていく方向を次の 2 項目に沿って考え、情報センターの「情報事業」を活用して、各女性センター等が実施できる新たな企画をいくつか提案する。

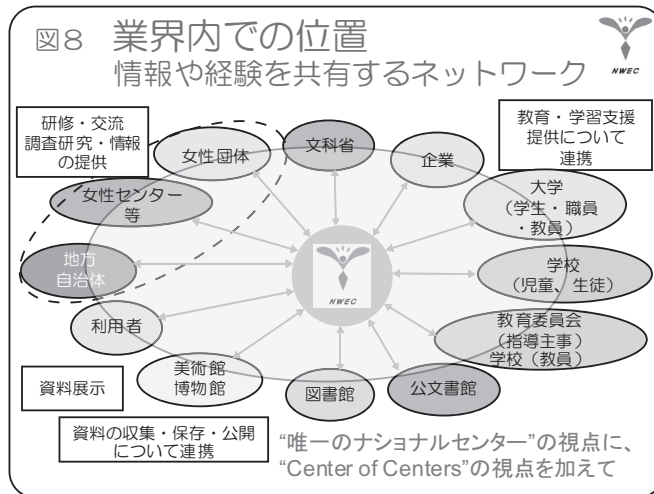
- 男女共同参画／女性教育業界での NWEC の位置
- 図書館界での独自性

### 男女共同参画／女性教育業界での NWEC の位置

図 8 に示すとおり、女性団体、女性センター等のリーダーを対象とした



研修の実施、調査研究への協力、データベースの共同構築という、これまでの連携・協力ネットワークの実績を踏まえ、この体制を維持発展させつつ、今後は、これまでに連携先としては、関係が少なかった企業・大学・学校等への教育・学習の対象を広げるため、学習支援のひとつの形として、情報事業では、企業の専門図書室、大学図書館や男女共同参画室、学校図書室等への支援と、地域の女性センター等との連携の新しい形を考える。



データベース共同構築の実績の1つとして、女性センター等との連携とネットワークを活用した「女性関連施設データベース」共同構築の継続事業があげられる（図9）。

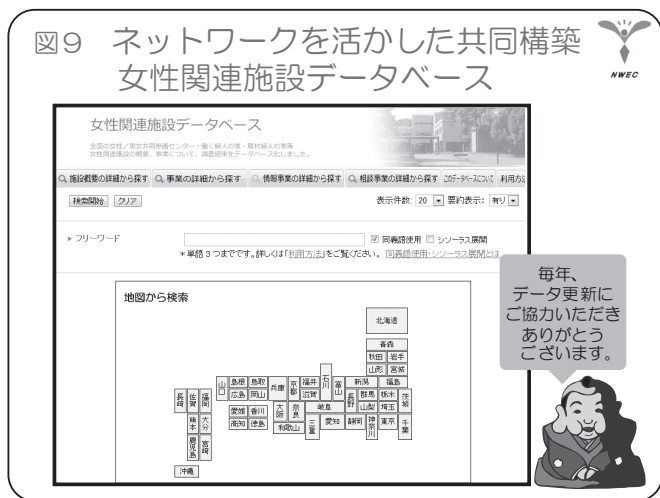
平成24年3月現在、女性関連施設データベースには、概要636件、事業24,024件、情報事業369件、相談事業319件が登録・公開されている。

全国規模・地方規模の公私立女性／男女共同参画センター・働く婦人の家・農村婦人の家等の女性関連施設の概要、学習・研修事業、情報事業、相談事業について毎年調査を実施し、その結果を公開するものである。

これは、平成12年10月に、女性関連施設1997と＜学習・研修＞調査事例集を合わせて女性関連施設として公開を開始したものである。



このデータベース共同構築の作業の積み重ねが、各施設の最新情報の収集・提供とともに、各施設の事業実績のアーカイブとなっている。



これと同様に、データベース共同構築の新しい形を2つ提案したい(図10)。

#### ①「震災復興支援女性アーカイブの構築」

前述のとおり、女性デジタルアーカイブシステムは、平成24年度のシステムリプレイスにより、これまでのシステムになかった、他のアーカイブシステムとの連携、Googleなど一般の検索ツールからの検索率アップができるようになった。また、実務として、データの登録等が担当職員にとって、使い勝手が良くなった。担当職員の業務負担が軽くなったことにより、新たな女性デジタルアーカイブ構築の可能性が広がったといえる。

システムの機能向上と業務軽減化、そして現在持つ連携の信頼関係を活かして、平成24年10月から、いくつかの女性センター等と「震災復興支援女性アーカイブ」の構築をすすめている。これは、平成23年3月11日の東日本大震災以降、震災復興支援に各地の女性センターが果たした実績(活動記録)を残す事業と位置づけている。今後は、これを段階的に、全国の女性アー

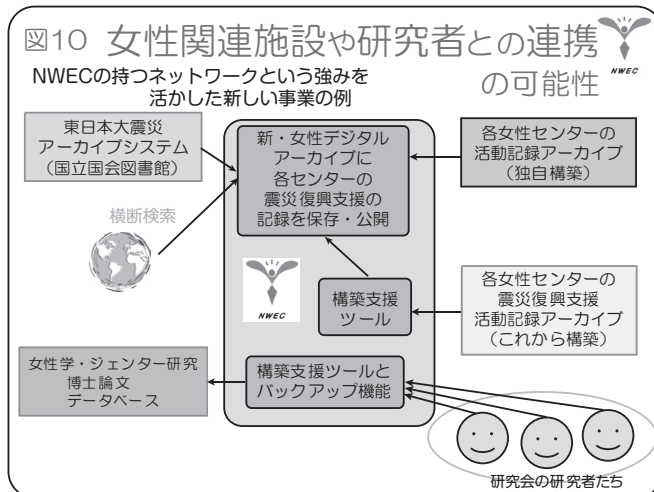


カイブや、大学等アーカイブとの連携に進められるものと考えている。

## ②「女性学／ジェンダー研究 博士論文」データ更新の支援

平成24年8月に女性学／ジェンダー研究 博士論文研究会が公開した「女性学／ジェンダー（以下、WSGS）研究 博士論文データベース」は、その構築段階から、データベース構成などについて、打ち合わせをしていた。

このデータベース構築にあたっては、いくつかの大学の博士論文を「国立情報学研究所博士論文書誌データベース」および「国立国会図書館 NDL OPAC（書誌一般検索）博士論文」から検索して抽出し、数人の研究者たちによる協議のうえ、論文の採否を判断する。今後もこの作業が続くことから、今後は研究会のメンバーに NWECC の持つ支援ツールを提供するとともに、外部業者との連携も合わせて、このデータベースを発展させる支援を実施する。まずは広報の窓口の1つとして、Winet へ掲載し、関連する大学付属 WSGS 研究機関を持つ大学図書館とのリテラシー教材の共同開発を検討している。そのほかに、作業段階で発生する様々な研究やコメントを保存することができるツールを提供し、将来の発展形として、「女性学・ジェンダー学博士論文 DB 研究資源アーカイブ」を構築できる可能性を提供したい。





### 図書館界での独自性

前述のとおり、情報センターは、現在の蔵書約 13 万冊規模の図書館である。そのうち 74% の 8 万 3 千冊を超える図書が社会科学分野のものである。

その中でも特に、女性、家族等をテーマとする図書は、2 万 3 千冊以上のタイトルをそろえている。同じテーマについて、大規模大学である東京大学附属図書館での所蔵は約 8 千冊程度、埼玉大学図書館の所蔵は 3 千冊弱と、ここにも NWEC 情報センターの専門図書館としての蔵書構成の特徴が表れている（図 11）。

この専門的な蔵書構成を活かして、平成 22 年度から開始した図書パッケージ貸出サービスは、現在も着実にサービス提供機関を増やしている。

これをふまえて、特に北海道に注目して、新しい展開を 2 つ提案したい（図 12）。

#### ①北海道での NWEC、男女共同参画センター、大学図書館の連携の試み

現在、NWEC 図書パッケージ貸出サービスは、札幌市男女共同参画センター、北海道大学北図書館、北海道教育大学、室蘭工業大学附属図書館に利用いただいている。そして、平成 24 年 9 月に、旭川医科大学図書館、小樽商科大学附属図書館の図書課長と話をする機会から、両大学と帯広畜産大学図書館の 3 館で、それぞれの専門性を活かした図書の貸出サービスを展開しているところへ、NWEC の「男女共同参画」図書の貸出を加えて、北海道地区での展開の可能性を調整している。

#### ②鳥取県での連携の試み

鳥取大学附属図書館からの平成 25 年 4 月に向けて NWEC 図書パッケージ貸出サービス利用の調整依頼にあたり、鳥取大学から提案のあった鳥取大学鳥取キャンパス（〒680-8550 鳥取市湖山町南 4 丁目 101）、米子キャンパス（〒683-8503 米子市西町 86）、鳥取環境大学（〒689-1111 鳥取市若葉台北 1 丁目 1 番 1 号）、鳥取短期大学（〒682-8555 鳥取県倉吉市福庭 854）に、鳥取県男女共同参画センターよりん彩の図書貸出の協力を得て、鳥取県下での巡回貸出を検討している。



図11 図書館界での独自性  
専門図書館の強みを知る

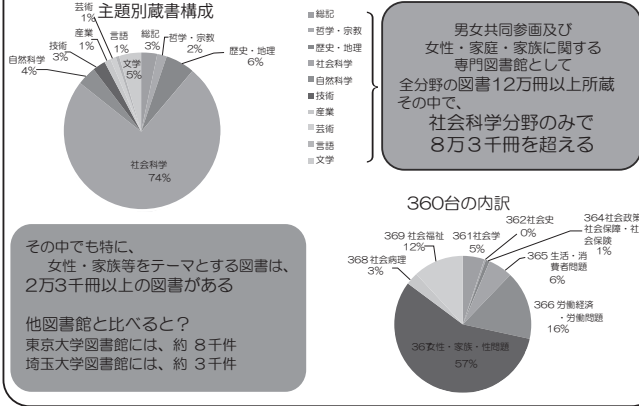
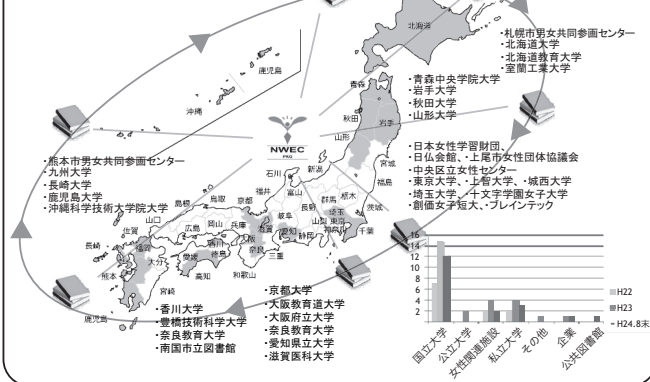


図12 その強み（図書）を活かして、  
図書パッケージ貸出の全国展開  
ある意味、『出前サービス』





次に、図書（現物）ではなく、情報センターが作成するデータの活用を提案したい。


### 「新聞切り抜き記事」の新着データの活用

情報センターが日々更新している新聞切り抜き記事を、Winetの「新着情報」でみるだけでなく、取り寄せて各センターの事業（業務）で使ってみる（再利用する）のは、どうだろうか。


情報の活用方法としてよいし、そこに不足した記事、たとえば地方版にしかない記事を各地のセンターで追加することがあれば、さらに充実したジェンダー視点を持った新聞切り抜き記事のコレクションができるのではないだろうか。

まずは、「新着資料 アラートサービス」に必要な新聞社名を登録して、その新聞社の記事の見出しをメールで毎日取り寄せ、使ってみることから始めていただきたい。

その後の展開は、いつでも情報センターが相談にのれるよう、これから体制を検討していきたい。



13

新着資料  アラートサービス 国立女性教育会館 女性教育情報センター  
Information Center for Women's Education  
National Women's Education Center (Lapang)

ログイン ヘルプ

ご利用ユーザーの方はこちらからログインしてください

▶ E-Mailアドレス:

▶ パスワード:

ログイン

国立女性教育会館  
女性情報ポータル  
最新更新Web申込

「アラートサービス」は、関心のある「キーワード」や「著者」などをあらかじめ登録しておき、その条件にあった新着資料（図書、地方行政資料、和雑誌記事、新聞記事等）をEメールでお知らせするサービスです。

ご利用にはメールアドレス等のご登録が必要です。  
はじめてご利用の方はご登録をお願いします。

アラートサービス新規登録画面へ

©2008 National Women's Education Center, Japan



NWECの新着情報を入手する方法は、次のとおり。①Winetにアクセスする。②「雑誌記事・新聞記事を探す」をクリックする。③左にある「新着資料アラートサービス」をクリックする。図13の画面が表示されたら、「アラートサービス新規登録画面へ」すすみ、利用登録の説明の順に従って必要事項を登録する。

NWEC 情報センターは、今後も協力・利用いただける明確な相手に向かって、信頼性の高い情報サービスを展開していきたいと考える。もちろん、新規開拓を忘れてはいない。

(いちむら・さくらこ 国立女性教育会館情報課長)